

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	アレルギー相談センター事業費補助金		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	疾病対策課		疾病対策課 田原 克志		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	アレルギー相談センター事業について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アレルギー性疾患(花粉症、アトピー性皮膚炎等)については、民間療法を含め膨大な情報が氾濫しており、正しい情報の取捨選択が困難な状況であるため、正しい知識と情報提供等を行い、患者や家族ひいては国民一般からの悩みや不安の解消を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①アレルギー専門医、専門医療機関の所在に関する情報提供。 ②薬や症状、自己管理・日常生活の注意点などアレルギー性疾患全般(喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなど)に関する専門スタッフの電話相談。 【補助率】10/10							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	12	10	10	10	14	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	12	10	10	10	14		
	執行額	12	10	10				
執行率(%)	100	100	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	アレルギー性疾患(花粉症、アトピー性皮膚炎等)についての正しい知識と情報提供等を行い、患者や家族ひいては国民一般からの悩みや不安の解消を図る。				-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	電話相談実績数			件	1152	1107	960	-
					-	(1152)	(1107)	(960)
単位当たりコスト	6,250 (円/件)		算出根拠	単位当たりコストの算出において、Xは費目・用途の相談員賃金(6百万円)、Yは上記活動指標の平成24年度数(960件)とする。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4	1	研修会開催経費の追加による増				
	庁費	3	4					
	委託費	6.2	6.2					
	委員等旅費	0	0.7					
	賃金	0	2					
計	10	14						

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	国民の2人に1人は何らかのアレルギー疾患に罹患しているとされており、広く国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	民間療法を含め膨大な情報が氾濫しており、国が確かな情報を発信する必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			—	—	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△	支出先である日本予防医学協会は、アレルギー相談に関する知識を有しており、支出先の選定は妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	ホームページの運営のみ専門知識を要するため委託しているが、その支出は合理的なものである。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	費目・使途は事業目的に即している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	電話相談は、不特定多数の国民から相談を受けることができ、実効性が高い手段である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	相談件数については、若干減少傾向ではあるが、概ね見込みにあったものである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	電話相談の内容をQ&Aとしてホームページに掲載し、成果を活用している。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	平成24年度の相談件数については、若干の減少は見られるが、電話相談やホームページへのQ&Aの掲載だけでなく、専門医リストなどアレルギー疾患に罹患している患者にとって、有益な情報の発信も行っているところであり、引き続き正しい知識と情報提供等を行い、患者や家族ひいては国民一般からの悩みや不安の解消を図る。					
外部有識者の所見						
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	花粉症やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患に関する正しい知識や情報を提供し、国民のアレルギー疾患に関する悩みや不安の解消を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	158	平成23年	135	平成24年	108

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
10百万円

（ 交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導
監督等 ）

↓
【補助】

A. (財)日本予防医学協会
10百万円

（ ・ホームページによるアレルギー専門医、専門医療機関の所在等情報提供
・専門スタッフによる国民からの電話相談
・ホームページによる免疫アレルギー疾患に関する研究班の成果報告 ）

↓
【随意契約】

B. (株)エイチ・ツー・オー総合研究所
1百万円

（ ・アレルギー相談センターのホームページ運営 ）

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(財)日本予防医学協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	相談員賃金	6.00			
諸謝金	相談員協力謝金	1.50			
委託費	(株)エイチ・ツー・オー総合研究所 ホームページ運営	1.00			
借料及び賃借料	事務所賃借料	0.80			
通信運搬費	郵送費	0.17			
消耗品費	事務用消耗品	0.02			
備品購入費	参考図書購入費	0.03			
雑役務費	振込手数料	0.01			
計		10	計		0
B.(株)エイチ・ツー・オー総合研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ホームページ運営	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本予防医学協会	アレルギー相談センター事業	10		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エイチ・ツー・オー総合研究所	ホームページ運営	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					